

60<sup>th</sup>  
60th Anniversary

FUJITEC

## 第62期 中間報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日



中国の「スカイウェイ・ランドिसホテル上海」には、高速エレベータ15台が活躍しています。

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
第62期第2四半期(平成20年4月1日～平成20年9月30日)  
の連結業績の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期の世界経済は、米国の景気停滞とともに、先進国の景気減速が一段と強まる中、高成長を維持してきた新興国にも減速傾向が見られました。また、日本経済も内外需要とも振るわず、景気後退が懸念されるなど厳しい環境で推移しました。

昇降機業界におきましては、北米市場の需要は集合住宅が低調に推移し、オフィスビルや商業施設などにも陰りが見られました。一方、中国市場では集合住宅を中心に需要が引き続き増加し、シンガポールを中心とする南アジア地域でも、建設投資は堅調に推移しました。日本市場では、公共事業の縮減が継続し、民間部門ではマンション供給が大幅に減少しました。収益面では、景気減速を反映した激しい価格競争と原材料価格の高騰が続くなど、厳しい状況の下で推移しました。

このような中、当社は新商品の販売拡大やモダニゼーション事業の推進、大型物件の獲得などに努めました結果、当第2四半期の受注高は623億66百万円(前年同期比12.9%増)、売上高は496億59百万円(同1.2%増)となりました。

当第2四半期の損益面では、営業利益は日本での減益により、15億34百万円(同12.4%減)となり、経常利益は金融収支の減少や為替差損などで17億30百万円(同21.9%減)となりました。

さらに、特別損益では、たな卸資産の評価損などを計上し、四半期純利益は4億93百万円(同57.4%減)となりました。当期の中間配当金につきましては、前中間期と同額の1株当たり5円とさせていただきます。

世界経済は今後、米国に端を発した金融危機の拡大が实体经济に波及し、先進国を中心とする大幅な景気減速が予想されるなど、不透明感が強まっています。

また、日本経済も、内外需要とも低迷が続くと見られ、建設市場ではマンション着工の大幅な減少を始めとする不動産市況の悪化が予想されます。

昇降機市場においても、グローバルな市場競争が激化し、当社グループを取り巻く経営環境は、引き続き予断を許さない状況となる見込みです。

当社では、中期経営計画“Regeneration for Quality”（品質維新）2年目として、フジテック・グループの強力なグローバルネットワーク体制を活用しながら販売戦略、事業戦略を展開し、収益の一層の向上を図ってまいります。さらに、新たな事業計画として、エスカレータ開発・生産拠点“ビッグステップ”とフィールド・テクニカル拠点“ビッグフィット”の再構築を推進しており、更なる事業拡充を目指しております。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年11月



代表取締役社長 内山 高一

## 主な活動概況

### 日本

Japan



イオンレイクタウン

宮城県仙台市では、大型複合再開発プロジェクトの中核となる東北随一の超高層ビル"仙台トラストタワー"向けに、エレベータとエスカレータ計41台を一括受注しました。

埼玉県越谷市では、国内最大級の大型商業施設

"イオンレイクタウン"がオープンし、エレベータとエスカレータ計65台が活躍しているのを始め、群馬県高崎市では、家電量販店最大手"ヤマダ電機"の本社ビルと店舗が完成し、エレベータとエスカレータ計44台が納められています。

東京では、今年6月に東京メトロの副都心線が開業し、エレベータ23台が活躍しているほか、"東京国際空港国際線新旅客ターミナルビル"向けにエレベータ21台を受注。

また大阪では、今年10月に京阪中之島線が開業し、エレベータとエスカレータ計21台が設置されています。



ヤマダ電機本社ビル

### 北南米

North & South America

米国西部のコロラド州・デンバーでは、世界的に著名なホテル"フォーシーズンズ・ホテル・デンバー"向けに、分速300mの高速機種を含むエレベータ9台を受注しました。カナダでは、カルガリーの中心地に建つ一流オフィスビル"リビングストーン・プレイズ・ツインタワーズ"が完成。地上22階建の2棟から成る同ビルには、エレベータとエスカ



フォーシーズンズ・ホテル・デンバー  
完成予想図

レータ計28台が活躍しています。アルゼンチン・ブエノスアイレスでは、地下鉄「H線」の第一期新設工事向けにエスカレータ23台を納めていますが、このたび第二期工事向けにエスカレータ35台を受注。また、プエルト・マデロ地区に建設される「マデロ・オフィス」向けにエレベータ20台を受注しました。



リビングストン・プレイス・ツインタワーズ

## 東アジア

East Asia

中国・北京市では、大型複合ビル「三里屯SOHO」向けに、エレベータ73台を大量受注する一方、上海市では、地上52階建の五つ星ホテル「スカイウェイ・ランディスホテル上海」がオープンし、高級エレベータ15台が活躍しています。



スカイウェイ・ランディスホテル上海

台湾では、新竹市に建設される世界的に著名な「シェラトンホテル」向けに、エレベータとエスカレータ計28台を受注しました。

さらに9月には香港で、香港島側ビジネス街に隣接する超一等地に



政府総合庁舎本部ビル完成予想図

「政府総合庁舎本部ビル」が建設されることになり、エレベータとエスカレータ計83台を大量一括受注しました。

## 南アジア

South Asia

シンガポールでは、セントーサ島に建設される一大リゾート施設 "リゾート・ワールド・セントーサ" 向けに、エレベータとエスカレータ計153台を大量一括受注したのを始め、超一流ホテルと高級住宅の複合施設 "セント・レジス" には、エレベータ27台が設置されています。

インドでは、ムンバイで最も高い地上32階建の "フォーシーズンズ・ホテル・ムンバイ" がオープンし、豪華なエレベータ8台が設置されています。



リゾート・ワールド・セントーサ完成予想図

## 欧州・中東

Europe & Middle East

ドイツでは、ベルリン最大の規模を誇る大型家具専門店 "メーベルクラフト" に、エスカレータ8台を納めています。

アラブ首長国連邦では、都市鉄道プロジェクト "ドバイ・メトロ" 向けに、オートウォーク98台を大量受注するとともに、サウジアラビアのマディナでは、モスクの地下に設置される巨大駐車場向けに、エレベータとエスカレータ計56台が納められます。



メーベル・クラフト



ドバイ・メトロ完成予想図

## 「ドバイ国際空港」で世界最大級の 展望用エレベータが完成!



ドバイ国際空港

中東最大の国際空港となるアラブ首長国連邦の「ドバイ国際空港」。同空港では、新たにドバイ政府出資のエミレーツ航空専用のターミナルビルとコンコースを建設する第二期拡張工事を進めていますが、今年10月、総床面積51万5,000m<sup>2</sup>を誇る第3ターミナルがオープンしました。

フジテックでは、2004年2月、ドバイ空港公団から2棟のコンコースに設置される超大型の展望用エレベータ「スカイトレーン」16台を受注しており、今回、そのうちの8台が完成しました。

この「スカイトレーン」は、エアバス最新鋭機A380(555座席)の乗り入れに伴い、大量の人々をスムーズに移動するために設置されたもので、積載9トン、定員120人乗りで、展望用エレベータとしては、世界最大クラスと言えます。

1台のかご正面側に2カ所の乗場ドアが設けられ、まさに列車(トレーン)をイメージしています。

各エレベータ内には、3台の大型ディスプレイが設置され、利用者に多彩な映像や情報、音楽を提供するとともに、エレベータ内の空気を浄化する除菌イオン発生装置「イオンフル」も装備され、清潔で快適な空間を実現するなど、大きな話題を集めています。



スカイトレーン



## 「エレベータ研究塔」を解体し、 フィールド拠点を再構築！



解体が進む  
エレベータ研究塔(茨木)

大阪府茨木市の旧本社敷地内に建つ地上150mの「エレベータ研究塔」では現在、新事業計画に基づき、解体工事を行っています。

1975年9月に完成し、当時はエレベータの研究施設として、世界最大の高さと規模を誇るものでした。

2006年4月、本社が滋賀県彦根市に移転し、新しく地上170mの世界最大級を誇るエレベータ研究塔を建てましたが、

それまで33年間の永きにわたり、地元のランドマークとして多くの方々に親しまれてきました。

研究塔が完成した翌年1976年には、世界に先駆けて分速600mの超高速エレベータを開発。その後、マイクロコンピュータ制御方式、インバータ制御方式のエレベータを次々と創み出すとともに、2001年には、上下のかご間隔を自動的に調整する世界初のダブルデッキ・エレベータを開発するなど、常にエレベータ業界に数多くの革新をもたらしました。

去る9月21日には、茨木市関係者や近隣代表を招き、「エレベータ研究塔さよならセレモニー」を開催。解体工事の安全を祈願するとともに、研究塔最上階からの最後の眺めを楽しみました。

解体後には、地上5階建の新社屋を建設。据付・メンテナンスというフィールド部門の研修センター、技術研究所に加え、部品供給センター、遠隔監視センターが集結し、フィールド関連と広域災害の対策拠点「ビッグフィット」として再構築します。



ビッグフィット完成予想図

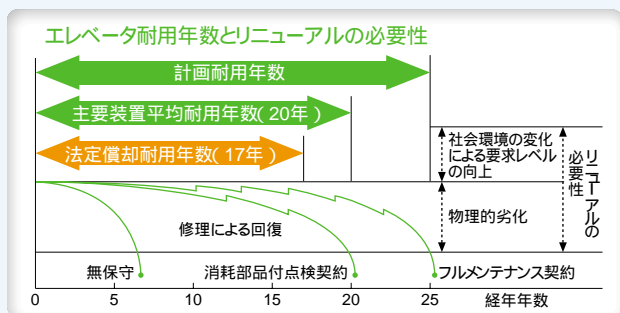


## 安全性・信頼性・経済性が格段に向上する 「エレベータ制御リニューアル」

エレベータをより安全に、より快適にご利用いただくため、フジテックでは古くなったエレベータの性能・機能を一新する「制御リニューアル」メニューを拡充しました。

エレベータの寿命は、使用頻度や保守状態によって一概には言えませんが、法定償却耐用年数(税制上)は17年、社団法人建築・設備維持保全推進協会のLCC(ライフ・サイクル・コスト)評価指針による計画耐用年数では25年、と定められています。

「制御リニューアル」は、巻上機、制御盤、昇降路内機器、かご開閉装置などを、最新の機器に取り換えるものです。



これによって、スムーズな走行を実現し、乗り心地も格段に向上するばかりか、着床精度も高まり、乗場とかごとの段差によるつまずきを無くします。

さらに、エネルギー効率にも優れていることから、消費電力を最大で約30～50%低減(当社従来比)。地球環境にも優しいエレベータに生まれ変わります。

お客様のご予算やご都合に合わせた「制御リニューアルプラン」や、かごのデザインとドアセンサーを一新する「かごパックメニュー」を取りそろえ、お客様のニーズにきめ細かくお応えしています。

### 制御リニューアルによるメリット

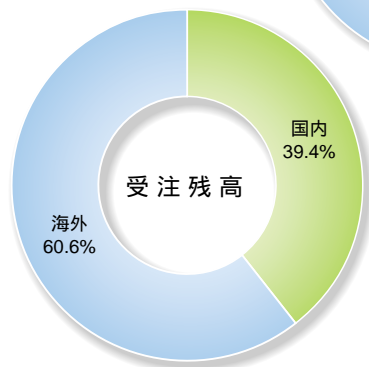
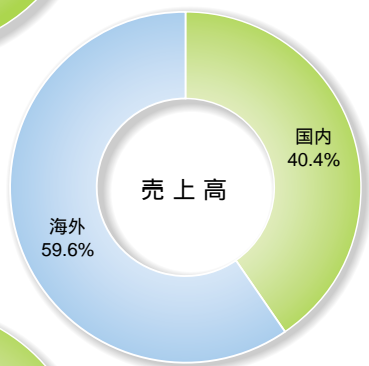
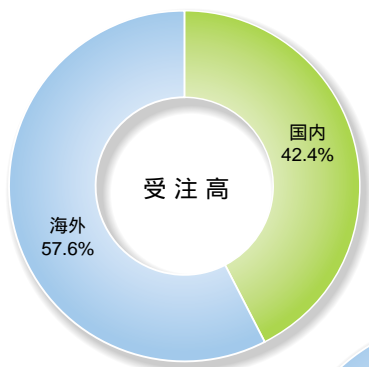
- 安全性向上
- 快適性向上
- 省エネルギー
- デザイン一新

# 連結業績の概要(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## 営業の状況

		受注高	売上高	受注残高
国内	百万円	26,462	20,043	44,235
海外	百万円	35,904	29,616	68,120
合計	百万円	62,366	49,659	112,355

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。



# Financial Results

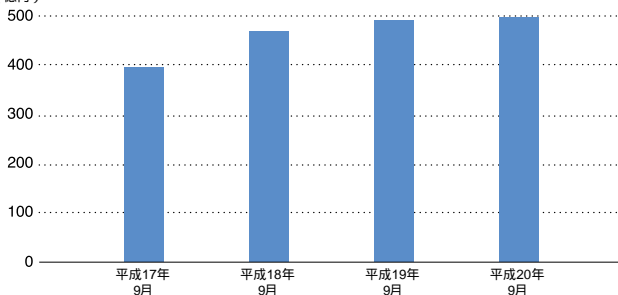
## 業績の推移

		当第2四半期 平成20年9月	前中間期 平成19年9月	前期 平成20年3月
売上高	百万円	49,659	49,065	110,632
営業利益	百万円	1,534	1,751	4,428
経常利益	百万円	1,730	2,217	4,725
四半期(当期)純利益	百万円	493	1,157	2,219
1株当たり四半期(当期)純利益	円	5.27	12.36	23.66
総資産	百万円	110,718	118,093	112,043
純資産	百万円	67,895	72,695	68,355
1株当たり純資産	円	673.10	723.53	675.35
研究開発費	百万円	935	1,111	2,257
設備投資	百万円	1,221	815	2,003

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

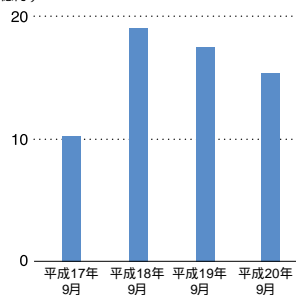
## 売上高

(億円)



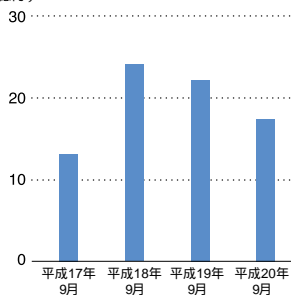
## 営業利益

(億円)



## 経常利益

(億円)



## 連結貸借対照表

(平成20年9月30日現在)

資産の部		負債の部	
	金額(百万円)		金額(百万円)
<b>流動資産</b>	<b>67,811</b>	<b>流動負債</b>	<b>35,129</b>
現金及び預金	17,940	支払手形及び買掛金	11,260
受取手形及び売掛金	27,427	短期借入金	5,458
有価証券	0	1年内返済予定の長期借入金	932
商品及び製品	4,275	未払法人税	802
仕掛品	8,792	賞与引当金	635
原材料及び貯蔵品	6,134	工事損失引当金	1,184
その他	3,590	その他の引当金	69
貸倒引当金	350	その他	14,785
<b>固定資産</b>	<b>42,907</b>	<b>固定負債</b>	<b>7,694</b>
有形固定資産	<b>26,956</b>	長期借入金	1,132
建物及び構築物	14,940	退職給付引当金	4,790
機械装置及び運搬具	2,691	その他	1,770
工具、器具及び備品	1,737	<b>負債合計</b>	<b>42,823</b>
土地	6,780	<b>純資産の部</b>	
建設仮勘定	805	株主資本	<b>74,751</b>
無形固定資産	<b>3,248</b>	資本金	12,533
のれん	1,379	資本剰余金	14,565
その他	1,868	利益剰余金	47,772
投資その他の資産	<b>12,702</b>	自己株式	120
投資有価証券	6,719	評価・換算差額等	<b>11,754</b>
長期貸付金	1,928	その他有価証券評価差額金	1,126
その他	4,358	繰延ヘッジ損益	1
貸倒引当金	303	為替換算調整勘定	12,881
<b>資産合計</b>	<b>110,718</b>	少数株主持分	<b>4,897</b>
		<b>純資産合計</b>	<b>67,895</b>
		<b>負債及び純資産合計</b>	<b>110,718</b>

(注) 1. 当第2四半期の連結子会社は、17社であり、持分法適用会社はありません。

2. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

# Financial Results

## 連結損益計算書

(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	金額(百万円)
売上高	<b>49,659</b>
売上原価	40,019
販売費及び一般管理費	8,105
営業利益	<b>1,534</b>
営業外収益	682
営業外費用	486
経常利益	<b>1,730</b>
特別利益	739
特別損失	1,450
税金等調整前四半期純利益	<b>1,019</b>
法人税、住民税及び事業税	611
法人税等調整額	377
少数株主利益	292
四半期純利益	<b>493</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	<b>3,055</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<b>9,007</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	<b>3,920</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	441
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	9,430
現金及び現金同等物の期首残高	16,866
現金及び現金同等物の四半期末残高	<b>7,435</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

# 企業データ

## 会社の概況

設立 昭和23年2月9日

資本金 125億3,393万円(平成20年9月30日現在)

### フジテック・グループ

【日本】本社 滋賀県彦根市ビッグウイング TEL(0749)30-7111  
東京本社 東京都港区三田3丁目9-6 TEL(03)4330-8200  
大阪支社 大阪市浪速区難波中2丁目10-70 TEL(06)6636-5900

【北米】アメリカ FUJITEC AMERICA, INC.  
カナダ FUJITEC CANADA, INC.  
グアム FUJITEC PACIFIC, INC.

【南米】ベネズエラ FUJITEC VENEZUELA C.A.  
アルゼンチン FUJITEC ARGENTINA S.A.  
ウルグアイ FUJITEC URUGUAY

【欧州】ドイツ FUJITEC DEUTSCHLAND GmbH  
イギリス FUJITEC UK LTD.

【中東】サウジアラビア FUJITEC SAUDI ARABIA CO., LTD.  
エジプト FUJITEC EGYPT CO., LTD.  
アラブ首長国連邦 FUJITEC UAE

【南アジア】シンガポール FUJITEC SINGAPORE CORPN. LTD.  
フィリピン FUJITEC, INC.  
マレーシア FUJITEC (MALAYSIA) SDN. BHD.  
インドネシア P.T. FUJITEC INDONESIA  
インド FUJITEC INDIA PRIVATE LTD.  
ベトナム FUJITEC VIETNAM CO., LTD.

【東アジア】ホンコン FUJITEC (HK) CO., LTD.  
台湾 富士達股份有限公司  
コリア FUJITEC KOREA CO., LTD.

【中国】中国 華昇富士達電梯有限公司  
中国 上海華昇富士達扶梯有限公司  
中国 上海富士達電梯研発有限公司  
中国 富士達電梯配件(上海)有限公司  
中国 FUJITEC CHINA

# Corporate Data

## 役員

### 取締役

取締役会長	大谷 謙治	取締役	松原 敏之
代表取締役社長	内山 高一	取締役	沢 邦彦
取締役	住本 彰	取締役	花川 泰雄
取締役	関口 岩太郎	取締役	稲葉 和夫
取締役	原田 勝弘		

### 監査役

常勤監査役	河合 正和	監査役	中野 正信
監査役	門間 進		

### 執行役員

執行役員社長	内山 高一*	常務執行役員	梶田 順司
執行役員副社長	住本 彰*	執行役員	赤松 美弘
執行役員副社長	関口 岩太郎*	執行役員	津山 圭二
専務執行役員	原田 勝弘*	執行役員	升本 裕紳
専務執行役員	松原 敏之*	執行役員	岡田 隆夫
常務執行役員	白井 孝雄	執行役員	西口 久信
常務執行役員	北川 由雄	執行役員	山城 啓二
常務執行役員	野木 正彦	執行役員	黒木 和比幸

\*は兼務しています。

## 株式の状況

発行済株式の総数 93,767,317株

株主数 3,584名

上場証券取引所 東京証券取引所、大阪証券取引所

### 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
1. シティグループ・グローバル・マーケッツ・インク	10,577	11.30
2. 株式会社ウチヤマ・インターナショナル	10,025	10.71
3. メロン パンクトリーティー クライアンス オムニバス	5,737	6.13
4. 富士電機ホールディングス株式会社	5,089	5.44
5. クレディットスイスチューリッヒ	4,651	4.97
6. 日本スタートラスト信託銀行(株)(信託口)	4,297	4.59
7. 株式会社りそな銀行	4,203	4.49
8. 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口4)	3,162	3.38
9. 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口4G)	2,834	3.03
10. 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	2,014	2.15

(注) 出資比率は、平成20年9月30日現在の発行済株式の総数である93,767,317株から自己株式174,619株を除いて計算しています。



## 株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当受領 株主確定日	毎年3月31日 なお、中間配当の株主確定日は9月30日
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告によることができない場合の公告方法 は、日本経済新聞に掲載することといたします。 ホームページアドレス： <a href="http://www.fujitec.co.jp/koukoku/">http://www.fujitec.co.jp/koukoku/</a>
株主名簿管理人	東京都港区芝3丁目33-1 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜2丁目2-21(〒541-0041) 中央三井信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部 TEL 0120-87-2031(フリーダイヤル)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

### 株券電子化実施後の手続のお申出先について

平成21年1月5日から、上場会社の株券電子化が実施される予定です。  
これに伴い、以下のとおり手続のお申出先が変更となります。

1. 株券電子化後の未払配当金の支払のお申出先  
これまでどおり、株主名簿管理人にお申出ください。
2. 株券電子化後の住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先
  - ① ほうりに株券を預けられている株主様 : お取引証券会社等
  - ② ほうりに株券を預けられていない株主様 : 特別口座管理機関である  
中央三井信託銀行  
お問い合わせ先は、上記株主名簿管理人と同じです。

### 株券電子化実施前後の単元未満株式の買取請求のお取扱いについて

ほうりに株券を預けられていない株主様に関しまして、以下の期間お取扱いを  
変更させていただきます。

単元未満株式の買取請求につきましては、平成20年12月25日から平成21年1月  
4日までに受付したものの買取代金の支払は平成21年1月26日とさせていただきます。  
また、平成21年1月5日から平成21年1月25日までの間、単元未満株式の  
買取請求の受付を停止します。

ほうりに株券を預けられている株主様に関しましても、株券電子化直前に単元  
未満株式の買取請求の取次停止期間が設けられますが、詳細はお取引証券  
会社等にご確認ください。

**フジテック株式会社**

<http://www.fujitec.com>



環境対応型の大豆油インキで印刷しています。